

# ダイズ害虫・ウコンノメイガの寄生性天敵相

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

## 1 部門名

普通畑作物—大豆—病虫害発生、病虫害防除

## 2 担当者

三田村敏正・松木伸浩

## 3 要旨

会津地方で2006年から多発傾向にあるウコンノメイガについて、福島県における生息状況や生態を解明する目的から、ウコンノメイガの寄生性天敵相を調査した。その結果、メイガヒゲナガコマユバチの寄生率が最も高かった。

- (1) カラムシ科に寄生している越冬世代幼虫の寄生率は高く、多い所では70%を超えた(表1)。
- (2) 一方でダイズほ場における第一世代幼虫の寄生率は低かった。
- (3) 天敵の種類は越冬世代では、コマユバチ科7種、ヒメバチ科2種、アリガタバチ科1種とハチ目が多く、一部の地域でハエ目と糸片虫が確認された(表1)。
- (4) メイガヒゲナガコマユバチによる寄生が最も多く、本種はウコンノメイガの発生を左右する有望な天敵(寄生蜂)と考えられた。

表1 ウコンノメイガ越冬世代幼虫の寄生率

場 所 (寄主植物)	供試 幼虫数	コマユバチ科							アリガタバチ科		ヒメバチ科		Diptera sp.	糸片虫	寄生率	
		<i>Glyptapanteles</i> sp.	<i>Apanteles</i> sp.	<i>Choerus</i> <i>takenuchii</i>	<i>Microgaster</i> <i>watanabei</i>	<i>Microgaster</i> <i>subcompleta</i>	メイガヒゲナガ コマユバチ	Braconidae sp.	<i>Goniozus</i> <i>japonicus</i>	<i>Campoplex</i> sp.	Ichneumonidae sp.					
会津坂下町船杉 (アカソ)	47	3	0	3	0	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	42.6
会津若松市門田町 (アカソ)	52	6	0	0	0	5	12	2	0	1	2	0	0	0	0	53.8
会津若松市湊町 (アカソ)	55	6	0	0	1	2	5	1	0	0	0	3	0	0	0	32.7
伊達市梁川町五十沢 (アカソ)	51	3	8	0	0	7	3	7	0	0	0	0	0	0	0	54.9
伊達市梁川町大関 (ナンバンカラムシ)	47	0	4	0	1	9	12	6	4	0	0	0	0	0	0	76.6
南相馬市鹿島区上栢窪 (ナンバンカラムシ)	51	2	1	0	0	12	7	5	2	0	0	0	0	0	0	62.7
新地町杉目 (ナンバンカラムシ)	60	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	11	0	40.0

※幼虫(は南相馬市、新地町では2010年5月28日、伊達市で2010年5月31日、会津坂下町、会津若松市で2010年6月1日にそれぞれの寄主植物から採集した。



図1 メイガヒゲナガコマユバチ(左:幼虫,中:繭,右:成虫)

## 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度～22年度センター試験成績概要
- (2) 第55回日本応用動物昆虫学会大会要旨(2011年3月)